



図書館員が選ぶ この一冊

16

『孤篷のひと』 葉室麟/著
(株)KADOKAWA・角川書店

本書は、小堀遠州が、近しい者たちに語るさまざまな人物とのエピソード10篇からなる。



小堀遠州とは、大茶人千利休、古田織部の意思を継ぎ、戦国から江戸初期に生きた茶人。建築・造園にも才を発揮、徳川家三代に仕え、活躍した。そんな遠州が思い起こしたのは、常に“生き方”を見つめているみな姿であり、自身の姿であった。

“生き方を貫く”とはいかなることか。遠州の回想から歴史上の人物の苦悩や決断を知ることができ、読者自身の人生と重ね合わせて読み進むことができるだろう。著者は、話題作・ファンともに多い歴史小説家。2017年に没した。